

第91期 株主通信

2010.4.1～2011.3.31

Creating the new generation

CKD株式会社

証券コード:6407

ごあいさつ



代表取締役社長 梶本 一典

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
このたびの東日本大震災により被災されました皆様には、心からお見舞い申し上げます。
ここに、当社第91期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)の営業の概況および決算内容につきましてご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

CKD Green Technology

当社グループでは、「CKD環境方針」に基づいて、環境対応型商品の開発を強力に推進しています。
省エネ・省資源化、汚染物質低減・汚染防止、有害物質の排除(EUで発効のRoHS対応)、静音化、長寿命化など、年度ごとに高い目標を設定し、人と地球にやさしい製品づくりに取り組んでいます。

CKDの主な製品の市場ポジション

自動機械部門

管球製造システム



薬品用自動包装システム

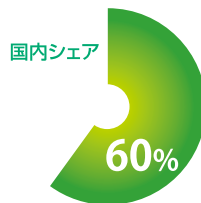


機器部門

半導体用薬液制御機器



流体制御機器



CKDのアドバンテージ

CKDは昭和18年の創立以来60年以上にわたり、自動化技術や流体制御技術の研究開発に取り組んでまいりました。長い歴史に培われた独自の先端テクノロジーは、圧倒的なシェアを持つ製品群に結実しています。

自動機械商品においては、高い安全性と環境性能をもつ薬品用自動包装システムは国内で80%のシェアを占めており、リチウムイオン電池用捲回機や電子基板の三次元はんだ印刷検査機でも高いシェアを誇っています。また、機器商品においても、半導体製造に欠かせない薬液制御機器や、あ

らゆる産業に応用可能な流体制御機器についても国内でトップの地位を堅持しています。

未知の技術領域に果敢に挑戦するフロンティアスピリットと徹底した品質へのこだわり、そしてお客様に最良の商品やシステムをご提供していくという顧客満足の追求こそ、CKDの成長への原動力です。

CKDは世界12カ国に海外拠点を有するグローバル企業として、これからも独創技術の開発と万全の品質管理を通じて産業と社会に貢献し、自動化技術の未来を切り拓いていきます。

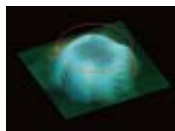
自動機械事業



薬品用自動包装システム



リチウムイオン電池用捲回機



三次元はんだ印刷検査機



医療機器用自動包装システム



液晶ディスプレイ用バックライト製造システム



蛍光灯製造システム

機器事業



クリーンシリンダバルブ



集積化ガス供給システム



リニアスライドシリンダ



電動アクチュエータ



ダイレクトドライブアクチュエータ



小形流量センサ

流体制御機器

ファインシステム機器

空気圧制御機器

駆動機器

省力機器

空気圧関連機器

部門別の状況

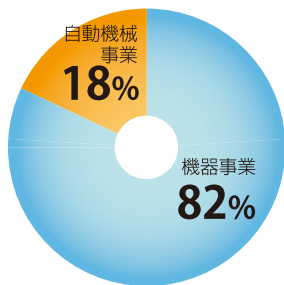
自動機械事業

自動機械部門につきましては、薬品用自動包装システムの売上が前期に引き続き堅調に推移したのに加え、リチウムイオン電池用捲回機、三次元はんだ印刷検査機が堅調に推移し、売上高13,061百万円(前期比9.1%増)、営業利益2,016百万円(前期比40.0%増)となりました。

機器事業

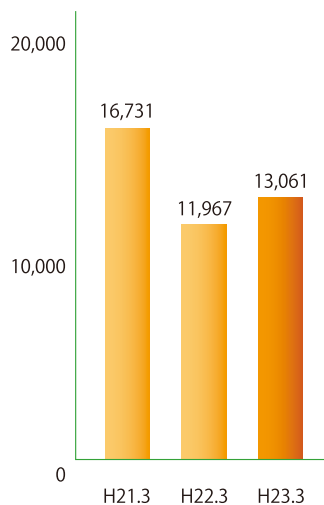
機器部門につきましては、アジアを中心とした海外市場での需要拡大、また国内では半導体をはじめ、太陽電池やLED関連などの設備需要の増加により、売上高58,959百万円(前期比54.9%増)、営業利益7,762百万円(前期比749.1%増)となりました。

売上高構成比

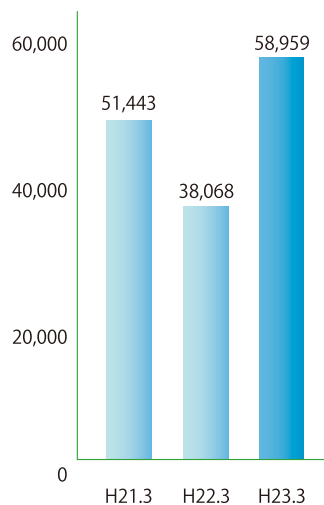


売上高推移

● 自動機械事業 (単位: 百万円)



● 機器事業 (単位: 百万円)



TOPICS 1 新商品 「エコプリスタFBP-800E」

当社は、錠剤やカプセルなどの医薬品を包装するPTPシステムのトップメーカーとして、お客様である製薬会社様より長年ご愛顧をいただいております。この度、長年培った包装技術を活かし、より高い生産性が実現できる業界最速レベルの高速プリスタ包装機「エコプリスタFBP-800E」を開発いたしました。



包装機械においては、お客様からの生産性アップのご要望が年々高まる中で、今回当社が開発した新商品「エコプリスタFBP-800E」は、従来機に比べて生産能力を33%アップさせることに成功いたしました。

また、エコプリスタシリーズは、地球規模での取り組みとなっている環境負荷低減という課題に対し、消費エア、消費電力を抑えた人と地球に優しい薬品包装機です。

TOPICS 2 新商品 三次元はんだ印刷検査機「VP6000-V」

当社は、電子部品実装業界で初めてはんだ印刷検査の自動化を実現して以来、三次元はんだ印刷検査機においてお客様から高い評価をいただいております。この分野では国内トップシェアを維持しています。

近年、実装ラインにおいては、生産性の向上と高品質の確保のため、高速、高精度な三次元はんだ印刷検査機が求められています。当社は、このような市場の要求にお応えし従来機に比べ、検査スピードを最大2倍アップさせ、2方向から光を照射することにより繰り返し精度2%以下を実現し、同時に検査プログラムの作成時間を1/2と大幅に短縮した新商品「VP6000-Vシリーズ」を開発いたしました。実装ラインの品質向上と工程改善に貢献できる新商品です。



TOPICS 3 新商品 アブソデックス(電子インデックス)高応答タイプ「AX-Tシリーズ」

産業機械の組立て・検査・搬送等の用途に広くご採用をいただいているアブソデックスを大幅に進化させた新商品「高応答タイプAX1000T、AX2000T、AX4000Tシリーズ」を発売しました。本製品は、好評をいただいております従来シリーズの基本機能の拡大に加えて、整定時間を従来の1/4に短縮する高応答化(ロスタイム削減)を実現し、生産能力向上に貢献します。さらに、本製品は今後の普及が見込まれるセーフティ規格認証に対応する回路を内蔵したことで、動力電源を遮断する安全回路を簡単に組むことが可能です。また、海外市場への拡販に不可欠な海外規格であるUL/cUL(北米規格)とCEマーキング(欧州規格)の対応に加え、各種フィールドネットワーク(CC-Link、DeviceNet、PROFIBUS DP)およびNPN/ PNP入出力にも対応したオンリーワン商品です。



営業の概況

当期の業績

当期におけるわが国経済は、中国をはじめとするアジア地域などの経済成長に伴う外需拡大や、景気刺激策による個人消費の持ち直しにより企業業績が改善し、設備投資に波及するなど緩やかに回復いたしました。

一方、雇用や所得の回復は遅れており、急激な円高・ドル安の進行や株安などにより先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連市場におきましては、半導体設備業界、二次電池業界、工作機業界を中心に総じて投資意欲が回復してまいりました。

このような状況のもとで、当社グループは、平成25年3月期を最終年度とする中期経営計画「New CKD2012」を策定し、3ヶ年計画の1年目として「海外」と「成長市場」をキーワードに具体的な方策に展開した取り組みを開始いたしました。

営業面では、二次電池などこれから成長が見込まれる分野を拡大するための攻略を推進してまいりました。また、成長著しいアジア地域での販売拡大を目指し、シンガポールに支店を、イン

ドにデリー事務所を新たに開設いたしました。

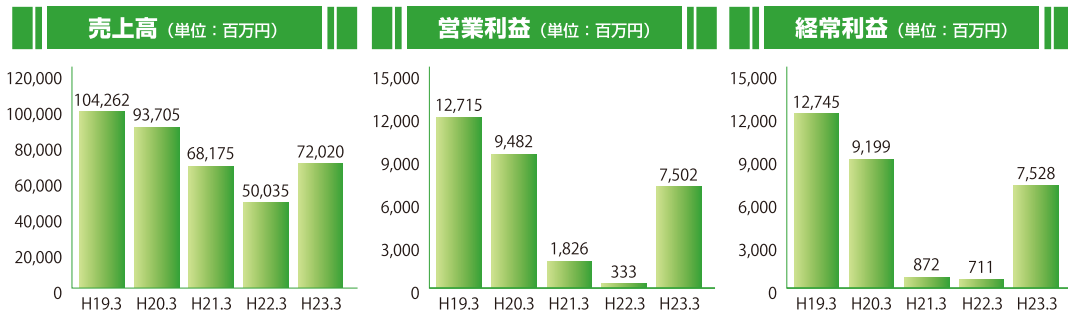
生産面では、内製化・購買費低減などの原価改善に注力すると同時に、更なる採算性の向上を目指し、海外生産拠点の強化を加速させるとともに、国内生産拠点の整備を行いました。

具体的には、半導体需要の高まりからCKD韓国(株)の生産能力を拡大するため、工場を拡張いたしました。また、子会社である福島ホーニング工業(株)で生産していたシリンドラの四日市事業所への生産移管を実施し、合理化を進めてまいりました。

開発面では、事業の柱となる基幹商品の開発を推進すると同時に、省電力、省資源化を目的とした環境負荷低減商品にも力を入れ開発を促進いたしました。

これらの事業活動を行ってまいりました結果、当期における連結業績は、売上高72,020百万円(前期比43.9%増)、営業利益7,502百万円(前期比2,147.1%増)、経常利益7,528百万円(前期比958.1%増)、当期純利益4,577百万円(前期比206.3%増)となりました。

連結



■ 設備投資の状況

当期の設備投資は、マシニングセンタ、コイル巻線機等、機械装置の更新等の結果、自動機械部門で238百万円、機器部門で1,899百万円、総額は2,180百万円となりました。

■ 資金調達状況

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行2行と貸出コミットメント契約を締結しております。この契約に基づく当期末日における貸出コミットメントの総額は3,300百万円であり、借入実行残高は600百万円であります。

■ 対処すべき課題

当社グループは、平成23年度方針として「新たな価値を創造する新商品開発」、「新興国・新市場・新顧客を拡大」、「将来に向けた新事業づくり」の3つの方針を実践してまいります。

① 新たな価値を創造する新商品開発

グローバル市場を拡大していくためには、従来の価値をそのままお客様に提供するのではなく、世界で求められる多様な要求に応えていく必要があります。お客様が求める多様な価値をしっかりと見極め、新商品開発にタイムリーに取り入れてまいります。

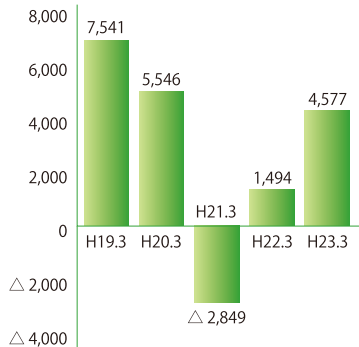
② 新興国・新市場・新顧客を拡大

経済成長著しい新興国へのさらなる活動の強化を図るとともに、医療や二次電池などの成長市場、産業変化により新たに出てくる新市場や未開拓の新顧客への攻略活動で売上拡大を図ってまいります。

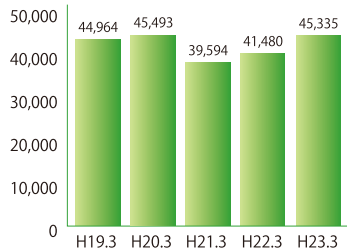
③ 将来に向けた新事業づくり

既存の事業・商品群に満足することなく、将来を見通しながら時代に合った新しい事業の展開を図ってまいります。

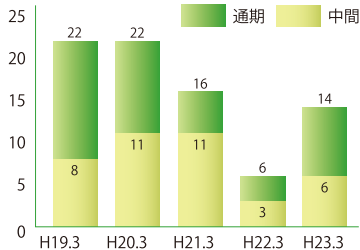
当期純利益 (単位: 百万円)



純資産 (単位: 百万円)



配当金 (単位: 円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

科 目	当 期	前 期
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	48,801	39,044
現金及び預金	7,849	5,682
受取手形及び売掛金	19,290	17,479
営業未収入金	3,150	1,280
商品及び製品	3,586	2,828
仕掛品	2,447	1,542
原材料及び貯蔵品	10,566	8,543
繰延税金資産	1,302	1,123
その他	691	612
貸倒引当金	△ 83	△ 48
固定資産	23,370	23,824
有形固定資産	18,633	19,235
建物及び構築物	8,308	9,033
機械装置及び運搬具	4,746	4,522
工具、器具及び備品	645	726
土地	4,616	4,638
リース資産	133	202
建設仮勘定	182	111
無形固定資産	262	333
投資その他の資産	4,474	4,255
投資有価証券	3,833	3,624
繰延税金資産	122	60
その他	568	625
貸倒引当金	△ 50	△ 55
資産合計	72,171	62,869

科 目	当 期	前 期
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
負債の部		
流動負債	22,939	17,712
支払手形及び買掛金	11,030	9,618
短期借入金	2,851	3,312
1年内返済予定の長期借入金	700	700
リース債務	72	96
未払費用	2,309	1,778
未払法人税等	2,666	509
賞与引当金	49	42
製品補償引当金	4	5
受注損失引当金	32	50
その他の引当金	10	—
その他	3,213	1,599
固定負債	3,896	3,676
長期借入金	2,299	2,000
リース債務	63	101
繰延税金負債	252	67
退職給付引当金	195	607
資産除去債務	129	—
その他	955	899
負債合計	26,836	21,388
純資産の部		
株主資本	45,383	41,343
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,735	12,610
利益剰余金	26,672	22,655
自己株式	△ 5,040	△ 4,938
その他の包括利益累計額	△ 48	137
その他有価証券評価差額金	579	472
為替換算調整勘定	△ 627	△ 334
純資産合計	45,335	41,480
負債純資産合計	72,171	62,869

連結損益計算書

単位:百万円

科 目	当期	前期
	自:平成22年4月1日 至:平成23年3月31日	自:平成21年4月1日 至:平成22年3月31日
売上高	72,020	50,035
売上原価	51,363	38,614
売上総利益	20,657	11,421
販売費及び一般管理費	13,154	11,087
営業利益	7,502	333
営業外収益	364	662
営業外費用	338	285
経常利益	7,528	711
特別利益	20	380
特別損失	244	267
税金等調整前当期純利益	7,304	824
法人税、住民税及び事業税	2,868	479
法人税等調整額	△ 142	△ 1,149
少数株主損益調整前当期純利益	4,577	—
当期純利益	4,577	1,494

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科 目	当期	前期
	自:平成22年4月1日 至:平成23年3月31日	自:平成21年4月1日 至:平成22年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	4,048	7,775
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,048	△ 831
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 766	△ 5,838
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 86	17
現金及び現金同等物の 増減額(減少△)	2,147	1,123
現金及び現金同等物の 期首残高	5,581	4,458
現金及び現金同等物の 期末残高	7,728	5,581

連結株主資本等変動計算書 当期(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

単位:百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
前期末残高	11,016	12,610	22,655	△ 4,938	41,343	472	△ 334	137	41,480
当期変動額									
剰余金の配当			△ 559		△ 559				△ 559
当期純利益			4,577		4,577				4,577
自己株式の取得				△ 1,000	△ 1,000				△ 1,000
自己株式の処分		124		898	1,023				1,023
従業員奨励福利基金等			△ 1		△ 1				△ 1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						107	△ 292	△ 185	△ 185
当期変動額合計		124	4,017	△ 101	4,040	107	△ 292	△ 185	3,854
当期末残高	11,016	12,735	26,672	△ 5,040	45,383	579	△ 627	△ 48	45,335

会社概要

会社概要 (平成23年3月31日現在)

社名 CKD株式会社
 (商号シーケーディ株式会社)
 設立 1943年4月2日
 資本金 11,016,380,748円
 本社 〒485-8551
 愛知県小牧市応時二丁目250番地
 代表電話: (0568)77-1111

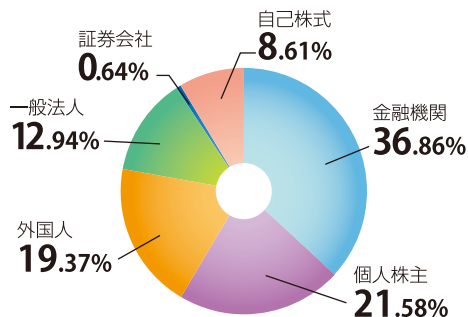
従業員数 1,987名(連結3,228名)
 主要な事業内容 自動機械装置及び省力機器、空気圧制御機器、駆動機器、空気圧関連機器、流体制御機器など機能機器の開発・製造・販売・輸出

役員 (平成23年6月24日現在)

取締役	執行役員
代表取締役社長 梶本 一典	常務執行役員 塚原 正彦
代表取締役 塚原 正彦	常務執行役員 金田 堅
取締役 徳田 重友	執行役員 徳田 重友
取締役 高橋 卓也	執行役員 高橋 卓也
取締役 野澤 好令	執行役員 野澤 好令
社外取締役 佐伯 弘文	執行役員 永松 昌裕
社外取締役 高畑 千秋	執行役員 山内 吉一
	執行役員 伊藤 一寿
監査役	執行役員 種瀬 雅久
常勤監査役 坪井 和巳	執行役員 西尾 竜也
社外監査役 奥村 収軌	執行役員 内永 恭一
社外監査役 芝吹 勝行	執行役員 小島 章裕
社外監査役 林 公一	

株式の状況 (平成23年3月31日現在)

発行可能株式総数 233,000,000株
 発行済株式総数 69,429,349株
 株主数 10,077名
 所有者別株式数の分布



大株主 (平成23年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	5,525	8.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,217	8.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,825	4.45
CKD持株会	2,368	3.73
第一生命保険株式会社	1,900	2.99
三井住友海上火災保険株式会社	1,610	2.54
株式会社三井住友銀行	1,581	2.49
住友生命保険相互会社	1,374	2.17
株式会社三井住友銀行信託口	1,257	1.98
日本生命保険相互会社	1,234	1.95

(注)上記持株比率は自己株式を除いて計算しております。



本社・工場(愛知県小牧市)



中国工場



タイ工場



韓国工場

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	当社のホームページに掲載する。(http://www.ckd.co.jp/japanese/ir/bspl.htm)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所および名古屋証券取引所 市場第一部 (証券コード6407)
ホームページアドレス	http://www.ckd.co.jp/
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(ホームページアドレス)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

自動化で未来を拓く

CKD